

第1回国立大学法人情報系センター長会議議事要旨

開催日時：平成18年11月17日（金） 14時00分～17時00分

開催場所：ユアーズホテルフクイ 芙蓉の間

出席者：文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室長 柴崎 孝

文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室学術情報第二係 高橋 耕輔

広島大学情報メディア教育研究センター教授 相原 玲二

北海道教育，室蘭工業，帯広畜産，弘前，岩手，秋田，山形，福島，茨城，筑波，宇都宮，

埼玉，千葉，東京医科歯科，東京外国語，東京学芸，東京農工，東京芸術，東京工業，

お茶の水女子，電気通信，一橋，横浜国立，新潟，長岡技術科学，上越教育，富山，金沢，

信州，北陸先端科学技術大学院，山梨，岐阜，静岡，浜松医科，名古屋工業，

豊橋技術科学，三重，滋賀，滋賀医科，京都教育，京都工芸繊維，大阪外国語，大阪教育

神戸，奈良教育，奈良女子，和歌山，奈良先端科学技術大学院，鳥取，島根，岡山，広島，

山口，徳島，香川，愛媛，高知，福岡教育，佐賀，長崎，熊本，大分，宮崎，鹿児島，

鹿屋体育，琉球，福井の各大学のセンター長（代理者を含む。）

配付資料：

1. 第1回国立大学法人情報系センター長会議資料

2. 文部科学省説明資料

3. 基調講演資料

「ネットワーク時代における全学統合認証基盤とその利活用」

4. 議事資料

「第18回情報処理センター等担当者技術研究会」

「第1回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議報告」

「第1回国立大学法人情報系センター長会議への要望」

「国立大学法人情報系センター協議会運営規約(案)」

会議内容：

当番機関である福井大学総合情報処理センター山下副センター長の司会により，福井大学長及び福井大学総合情報処理センター長挨拶の後，下記のとおり会議を開催した。

1. 文部科学省研究振興局情報課柴崎学術基盤整備室長挨拶

文部科学省研究振興局情報課柴崎学術基盤整備室長より，挨拶を兼ねて情報科学技術及び学術情報基盤関連の最近の動向等について，以下の説明があった。

(1) 次世代スーパーコンピュータプロジェクトについて

文部科学省では平成18年度より、長期的な国家戦略を持って取り組むべき重要技術(国家基幹技術)である「次世代スーパーコンピュータ」を平成22年度の稼動(平成24年の完成)を目指して開発している。

次世代スーパーコンピュータについては、産学官に広く開放し、基礎研究から産業利用まで幅広く共用するため、特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律が本年7月から施行されており、また、この法律の施行に伴い、特定高速電子計算機施設の共用の促進に関する基本的な方針が本年6月30日付けで告示されている。現在、共用の促進に関する基本方針に対する意見募集が行われているところ。

(2) 平成19年度概算要求における特別教育研究経費等の状況について

国立大学法人運営費交付金については、政府予算そのものが厳しい状況にあるが、文部科学省としては学術政策上の必要性を踏まえつつ、各法人の重点事項としての優先順位を尊重するとともに、各法人の自助努力を重視するという考え方に基つき要求しているところ。これから12月までの間大変厳しい予算折衝が予想されるが、最大限努力してまいり所存。

また、学術情報基盤に関連する要求は7件あり、本年3月に科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会が取りまとめた「学術情報基盤の今後の在り方について(報告)」の趣旨を踏まえた要求も見られる。

(3) 情報科学技術に関する研究開発の推進方策について

科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会では、第3期科学技術基本計画及び分野別推進戦略を踏まえ、本年7月に「情報科学技術に関する研究開発の推進方策」を取りまとめたところ。同報告では文部科学省の果たすべき役割、重点的に推進すべき研究開発課題及び研究開発の推進方策等が示されている。

2. 基調講演

「ネットワーク時代における全学統合認証基盤とその利活用」

広島大学情報メディア教育研究センター 相原 玲二教授から、ネットワーク時代における全学統合認証基盤とその利活用について、以下の内容で説明があった。

配付資料を参考にして広島大学の導入までの経緯、導入の目的、全学電子認証システム利用状況等について説明があった。

全学統合認証システムの導入は大変な作業であるが、多くのメリットがあり、また、統合認証システムに沿って教職員が共通認識を持って作業できたことが大きかったこと等が述べられた。

3. 議 事

(1) 報告事項

① 第18回情報処理センター等担当者技術研究会について（金沢大学）

金沢大学岩原総合メディア基盤センター長から、平成18年9月7日～8日に、参加校として34校、65名が参加し、実施されたこと並びにこの研究会は、情報処理センター等の技術系職員が一堂に会して、最新技術やシステムの管理、21件の研究発表、意見交換を主旨として実施している旨の報告があった。

② 第1回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議について（岩手大学）

岩手大学吉田総合情報処理センター助教授から、研究交流・連絡会議の開催については、今年度より国立大学法人の情報系センターに声をかけお集まりいただきしており、平成18年9月21日及び22日の両日に実施し、1日目は44大学74名の参加があり、また、2日目は学術情報処理研究集会として82名の参加を得て、14件の研究発表がなされた旨の報告があった。

(2) 議 題

① 第1回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議における要望について（岩手大学）

岩手大学吉田総合情報処理センター助教授から、要望事項として、「第2回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議」と「第11回学術情報処理研究集会」にかかる委員の確認について及びセンター長会議の再定義について、以下のとおり説明があった。

- ・ 「第2回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議」及び「第11回学術情報処理研究集会」にかかる委員（案）について確認及び承認願いたい。
- ・ センター長会議の位置づけについて、センター長会議の理念及び行動範囲を明記する、規約や規則を整備する必要がある。
- ・ センター長会議と研究交流・連絡会議が別々に開催されることに異論はない。別の日に開催する必然性はないように思われる。
- ・ 会議の性質からセンター協議会とセンター長会議の開催時期を合わせることも考えられる。

審議の結果、来年度の開催は、資料1「第2回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議」及び「第11回学術情報処理研究集会」にかかる委員（案）に準拠して取り扱うことで、承認された。

② センター長会議のあり方について（埼玉大学、福井大学）

本年度国立大学法人情報系センター協議会（総会）の当番校である埼玉大学前川情報メディ

ア基盤センター長から、センター協議会のあり方及びセンター長会議のあり方について、以下のとおり説明があった。

- ・ センター協議会のあり方については、ワーキンググループを立ち上げて国立大学法人情報系センター運営規約（案）の内容を協議した。
- ・ ワーキンググループとしてセンター協議会（総会）及びセンター長会議については、以下の意味合いから役割分担の上、従来どおり別々に開催することの提言があった。

センター協議会（総会）は、協議会全体の事項を審議する及び大学間の情報交換を行う。また、全国共同利用情報基盤センターをもつ大学との情報交換を行うこととする。

センター長会議は、学内 I T 基盤のマネジメントに関わる事項を審議する。また、文部科学省等関係機関との情報交換を行うこととする。

今回情報系センター会議の当番校である福井大学桜井総合情報処理センター長から、センター長会議のあり方について提案があった。

審議の結果、センター長会議のあり方については、本情報系センター長会議メンバー及びセンター協議会（総会）のメンバーから構成されるワーキンググループで検討することが提案され、承認された。ワーキンググループとして参加の意思を持つ機関は、本年度当番校の福井大学に申し出ること。また、今回の事案に関わる議長校である福井大学よりワーキンググループへの参加を求められた機関は可能な限り、協力して頂きたい旨の議長発言があり認められた。ワーキングの答申結果については、ネットワークを通して関係諸機関に情報公開を行うこと、本件事案の修正・承認に関しては、次年度の本情報系センター長会議での決議に代えて、センター協議会（総会）での決定でもよいことが、承認された。

③ 次期開催校等について

平成19年度第2回国立大学法人情報系センター研究交流・連絡会議については、島根大学に、平成19年度第2回国立大学法人情報系センター長会議については、宇都宮大学においてそれぞれ開催することが決定された。

④ その他

議長から、以下について追加議題の提案があり、了承され、説明があった。

- I. 情報系センターメーリングリストについて（鹿児島大学）
- II. 大学CIOの権限とセンターの関わりについて（福井大学）

I. 情報系センターメーリングリストについて

鹿児島大学中山学術情報基盤センター長から、電気通信大学により運用されている nipc メーリングリストについては、SPAM メールが多く、有効に活用するのが困難な状況に陥っている。

廃止も含め、今後の運用について議論して欲しい旨の説明があった。

審議の結果、特に異議がなかったため、情報系センターメーリングリストについては廃止の方向で承認された。

Ⅱ. 大学 CIO の権限とセンターの関わりについて

福井大学桜井総合情報処理センター長から、大学 CIO の権限とセンターの関わりについて、福井大学の事例が紹介された。

福井大学研究・医療担当理事閉会の挨拶の後、議長により閉会が宣言された。